平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月31日

上場会社名　株式会社 アップガレージ　　上場取引所　東
コード番号　3311　URL　http://www.upgarage.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 石田　誠
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長　(氏名) 大塚　康雄　TEL 045-989-2345

四半期報告書提出予定日　平成23年11月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,724	10.7	88	190.3	92	209.6	47	―
23年3月期第2四半期	2,460	△0.0	30	△55.3	29	△54.9	△6	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	3,944.41	3,935.65
23年3月期第2四半期	△476.58	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	2,096	778	37.2	65,231.41
23年3月期	2,021	749	37.1	62,786.50

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　778百万円　23年3月期　749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	1,500.00	1,500.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,594	11.5	111	△32.7	107	△34.0	57	△20.8	4,773.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	16,990 株	23年3月期	16,990 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,050 株	23年3月期	5,050 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	11,940 株	23年3月期2Q	13,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施をしております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績とは異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8
５．生産、受注及び販売の状況 …… 9

1．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により、被災地での生産活動の急速な悪化、消費者の消費マインドの低下により景気が一時冷え込みましたが、被災地の飛躍的な復興により、企業の生産活動が再開し、早期の段階で消費活動が回復したことにより、景気の一部に持ち直しの兆しが見えてまいりました。

しかしながら、原油高騰、長期化する円高やデフレ、厳しい雇用環境などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において当社は、直営事業では、既存店舗の販売力を強化し、収益性の向上を図るため、人材育成を積極的に行なっております。また、当期の新規出店においては、消費者ニーズに対応するため、前事業年度に事業を開始した「東京タイヤ流通センター」の既存店舗への併設出店を、積極的に行なっております。

フランチャイズ事業においては、既存フランチャイズ店に対して、ノウハウの提供、販売、買取研修を行い、販売力等の強化を行っており、新規開発では、未開発エリアへのフランチャイズ店誘致、既存フランチャイジーの多店舗展開、「東京タイヤ流通センター」の併設店化の推進を行ってまいります。

当第２四半期累計期間の店舗数の増減は、「アップガレージ」でフランチャイズ店１店舗の閉店がありました。「アップガレージ　ライダース」では、フランチャイズ店での単独店１店舗と併設店２店舗の出店、「アップガレージ　ホイールズ」では、直営店の単独店１店舗と併設店１店舗の出店がありました。東京タイヤ流通センター」においては、併設店舗として直営店４店舗とフランチャイズ店２店舗の出店がありました。

これらにより、当第２四半期累計期間末の店舗数は、「アップガレージ」76店舗（内フランチャイズ店58店舗）、「アップガレージ　ライダース」23店舗（同店18店舗）、「アップガレージ　ホイールズ」14店舗（同店10店舗）、「東京タイヤ流通センター」９店舗（同店３店舗）を全国展開し、直営店及びフランチャイズ店の合計店舗数は122店舗となっております。

当第２四半期累計期間末における当社の出店、閉店の状況は以下のとおりです。

		出店		閉店		当第２四半期累計期間末店舗数		
		直営店	ＦＣ店	直営店	ＦＣ店	直営店	ＦＣ店	合計
アップガレージ		－	－	－	１店	18店	58店	76店
アップガレージライダース	単独出店	－	１店	－	－	１店	13店	14店
	併設出店	－	２店	－	－	４店	５店	９店
	計	－	３店	－	－	５店	18店	23店
アップガレージホイールズ	単独出店	１店	－	－	－	３店	10店	13店
	併設出店	１店	－	－	－	１店	－	１店
	計	２店	－	－	－	４店	10店	14店
東京タイヤ流通センター	単独出店	－	－	－	－	１店	－	１店
	併設出店	４店	２店	－	－	５店	３店	８店
	計	４店	２店	－	－	６店	３店	９店
合計		６店	５店	－	１店	33店	89店	122店

（注）併設出店とは、別業態店舗敷地内において出店している店舗です。

以上の結果、当第２四半期累計期間の業績は、売上高は、震災の影響から一時的な買い控えの傾向があったものの、前事業年度の新規出店が当期の売上に寄与したこと等により、昨年を上回る水準で推移しました。直営事業では、2,395,837千円（前年同四半期比10.4%増）、フランチャイズ事業においては328,918千円（前年同四半期比13.0%増）となり、直営事業、フランチャイズ事業ともに前年を上回り、売上高の合計は、2,724,755千円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

営業利益については、前述の売上高増加、経費削減の効果により、88,745千円（前年同四半期比190.3%増）、経常利益92,661千円（前年同四半期比209.6%増）、四半期純利益は税金費用41,459千円を計上し、47,102千円（前年同四半期は四半期純損失6,294千円）となりました。

(2)財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産の状況は、2,096,435千円となり、前事業年度末に比べ74,575千円増加しました。これは主に、商品の増加61,518千円、有形固定資産の増加9,219千円、投資有価証券の増加10,000千円及び敷金及び保証金の増加8,961千円等によるものです。

負債の状況は、1,317,572千円となり、前事業年度末に比べ45,383千円増加となりました。これは主に、長期借入金の返済による減少146,324千円があったものの、買掛金の増加13,000千円、未払金の増加19,039千円、未払費用の増加23,641千円、短期借入金の増加100,000千円及び未払法人税等の増加17,287千円によるものです。

純資産の状況は、778,863千円となり、前事業年度末に比べ29,192千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益47,102千円を計上したものの、配当に伴う剰余金の取り崩し17,910千円があったことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間の現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前事業年度末に比べ75,019千円減少し、322,062千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりとなります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、66,035千円(前年同四半期は131,570千円の減少)となりました。これは主に、たな卸資産の増加68,572千円による資金の減少要因があったものの、税引前四半期純利益88,561千円、減価償却費34,125千円の計上及び仕入債務の増加12,909千円による資金の増加要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、70,396千円(前年同四半期は38,709千円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出12,002千円、有形固定資産の取得による支出28,292千円及び無形固定資産による支出12,287千円等による資金の減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は70,657千円(前年同四半期は24,194千円の減少)となりました。これは主に、短期借入金の増加100,000千円があったものの、長期借入金の返済146,324千円、配当金の支払額17,675千円等による資金の減少によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

当第2半期累計期間の業績は、本年3月11日に発生しました東日本大震災の影響を織り込んでおりましたが、被災地の復興が思いのほか早く、企業の生産活動の早期再開、消費者の消費マインドの早期回復により、当社においても、当初予想していた業績を大きく上回る結果となりました。

以上のことから、売上高2,724百万円、営業利益88百万円、経常利益92百万円、四半期純利益47百万円となり、前回発表予想(平成23年8月12日公表)を上回る見込みとなりましたので、修正するものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間が当初計画を上回りましたが、通期においては未だ経済情勢及び市場動向が不透明であることから、変更しておりません。詳細は本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2.サマリー情報(その他)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3.継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	417,198	354,182
売掛金	245,788	270,935
商品	732,962	794,481
貯蔵品	542	596
前払費用	43,066	42,928
繰延税金資産	17,760	22,226
未収入金	11,070	12,379
預け金	6,148	16,548
その他	138	594
貸倒引当金	△1,517	△1,728
流動資産合計	1,473,159	1,513,144
固定資産		
有形固定資産		
建物	303,007	320,422
減価償却累計額	△149,244	△161,145
建物（純額）	153,762	159,277
構築物	87,200	92,043
減価償却累計額	△53,733	△57,803
構築物（純額）	33,466	34,240
機械及び装置	58,062	59,645
減価償却累計額	△32,577	△34,750
機械及び装置（純額）	25,485	24,894
車両運搬具	13,247	20,247
減価償却累計額	△11,817	△14,162
車両運搬具（純額）	1,430	6,085
工具、器具及び備品	274,409	280,883
減価償却累計額	△217,290	△222,422
工具、器具及び備品（純額）	57,118	58,461
リース資産	36,536	36,536
減価償却累計額	△19,178	△21,654
リース資産（純額）	17,357	14,881
有形固定資産合計	288,621	297,840
無形固定資産		
商標権	1,236	1,020
ソフトウエア	38,668	43,448
ソフトウエア仮勘定	－	2,890
電話加入権	2,531	2,531
リース資産	1,820	260
無形固定資産合計	44,256	50,149

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成23年９月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	－	10,000
出資金	10	10
繰延税金資産	21,952	22,533
敷金及び保証金	193,609	202,570
長期前払費用	251	187
投資その他の資産合計	215,822	235,300
固定資産合計	548,700	583,291
資産合計	2,021,860	2,096,435
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,059	123,059
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	251,354	202,060
リース債務	10,318	6,729
未払金	51,248	70,287
未払費用	35,526	59,167
未払法人税等	33,448	50,735
未払消費税等	16,029	15,173
未払配当金	923	1,157
預り金	4,825	7,393
賞与引当金	18,141	28,240
その他	1,011	6,264
流動負債合計	632,885	770,269
固定負債		
長期借入金	507,348	410,318
リース債務	9,856	6,787
長期預り保証金	46,700	50,100
資産除去債務	75,398	80,097
固定負債合計	639,303	547,303
負債合計	1,272,189	1,317,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,330	268,330
資本剰余金	287,225	287,225
利益剰余金	343,557	372,749
自己株式	△149,441	△149,441
株主資本合計	749,670	778,863
純資産合計	749,670	778,863
負債純資産合計	2,021,860	2,096,435

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,460,925	2,724,755
売上原価	1,359,955	1,500,823
売上総利益	1,100,970	1,223,932
販売費及び一般管理費	1,070,399	1,135,186
営業利益	30,570	88,745
営業外収益		
受取利息	114	50
受取手数料	4,677	7,243
スクラップ売却益	―	1,268
その他	2,493	2,072
営業外収益合計	7,284	10,635
営業外費用		
支払利息	7,552	6,573
支払手数料	245	81
その他	127	64
営業外費用合計	7,925	6,719
経常利益	29,929	92,661
特別利益		
固定資産売却益	1,027	―
賞与引当金戻入額	1,929	―
貸倒引当金戻入額	2,865	―
特別利益合計	5,822	―
特別損失		
固定資産除却損	390	―
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,549	―
災害義援金	―	4,099
特別損失合計	34,940	4,099
税引前四半期純利益	811	88,561
法人税、住民税及び事業税	10,893	46,506
法人税等調整額	△3,787	△5,046
法人税等合計	7,105	41,459
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,294	47,102

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	当第２四半期累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	811	88,561
減価償却費	37,274	34,125
その他の償却額	10,348	8,630
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,130	10,098
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,865	210
受取利息及び受取配当金	△114	△50
支払利息	7,552	6,573
固定資産除却損	390	－
固定資産売却損益（△は益）	△1,027	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,549	－
災害義援金	－	4,099
売上債権の増減額（△は増加）	31,701	△25,147
たな卸資産の増減額（△は増加）	△91,752	△68,572
その他の資産の増減額（△は増加）	△10,766	△12,185
仕入債務の増減額（△は減少）	△24,462	12,909
その他の負債の増減額（△は減少）	△50,040	46,413
小計	△59,532	105,667
利息及び配当金の受取額	114	50
利息の支払額	△7,166	△6,271
災害義援金の支払額	－	△4,099
法人税等の支払額	△64,986	△29,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	△131,570	66,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,116	△12,002
定期預金の払戻による収入	60,095	－
投資有価証券の取得による支出	－	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△75,041	△28,292
有形固定資産の売却による収入	1,027	1,146
無形固定資産の取得による支出	△2,946	△12,287
敷金及び保証金の差入による支出	△10,617	△9,211
敷金及び保証金の回収による収入	890	250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,709	△70,396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△132,424	△146,324
自己株式の取得による支出	△18,393	－
配当金の支払額	△19,460	△17,675
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,559	△6,658
割賦債務の返済による支出	△357	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,194	△70,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△194,474	△75,019
現金及び現金同等物の期首残高	410,303	397,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	215,828	322,062

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。

５．生産、受注及び販売の状況

（１）生産実績

該当事項はありません。

（２）受注状況

当社は一般顧客（最終消費者）を対象とした店頭販売であるため、記載を省略いたします。

（３）仕入の状況

中古カー用品等の販売事業における商品分類別仕入実績

商品分類別	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月 1日 至　平成23年９月30日）		
	仕入高（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
タイヤ・アルミホイール	590,298	40.9	110.2
カーオーディオ カーエレクトロニクス	289,364	20.0	92.3
カースポーツ用品	272,087	18.9	105.9
その他のカー用品	291,594	20.2	123.8
合計	1,443,344	100.0	107.6

（注）１．上記の金額には消費税等は含まれておりません。

２．金額は仕入価格によっております。

（４）販売実績

中古カー用品等の販売事業における商品分類別販売実績

商品分類別		当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月 1日 至　平成23年９月30日）		
		売上高（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
タイヤ・アルミホイール		861,615	31.6	110.7
カーオーディオ カーエレクトロニクス		475,307	17.5	111.0
カースポーツ用品		461,370	16.9	119.3
その他のカー用品		597,543	21.9	103.7
小計		2,395,837	87.9	110.4
フランチャイズ収入	ロイヤリティー収入	134,896	5.0	105.3
	その他の収入	194,022	7.1	119.1
	小計	328,918	12.1	113.0
合計		2,724,755	100.0	110.7

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。